

『日本労働研究雑誌』 総目次

(No. 546/2006年1月～
No. 557/2006年12月号)

(提言)

- 良いコミュニケーションは元気の素
……………大谷由里子…546
- 計量分析手法の発達と労働経済学 ……大橋 勇雄…547
- 2007年問題の先に ……………清家 篤…550
- 今「データ」が再考されなければならない背景
……………篠塚 英子…551
- 30代の悲劇 ……………矢野 真和…552
- 企業の両立支援策の価値増大を ……樋口 美雄…553
- 個の尊重とマインドアップが成果主義の本領
……………楠田 丘…554
- 「分権化」に関する企業側からの一考察
……………松井 博志…555
- 働く市民の常識としての労働法 ……道幸 哲也…556
- 正規・非正規雇用の二極分化から段階的統合へ
……………村松久良光…557

(論文)

- 〈コミュニケーション〉
- 紛争解決のための組織の公正と「話し合い」の技術
……………奥村 哲史…546
- コミュニケーション・スキルの重要性
……………大坊 郁夫…546
- 〈労働紛争解決システムと労使関係〉
- 個別労働紛争の決定要因
……………大竹 文雄・奥平 寛子…548
- 人事管理の変化と個別労働紛争の増加
……………守島 基博…548
- 韓国の労使紛争解決システムと労使関係
……………李 鋌…548
- 米国における個別雇用紛争解決
……………マシュウ・W. フィンキン…548
- 労働・雇用関係における紛争解決——ドイツの事例
……………ウルリッヒ・ツァッハルト…548
- 日本における労働紛争の解決——最近の展開とその背景、および将来の展望 ……………山川 隆一…548

労働紛争解決に果たす労働組合の機能

- ……………逢見 直人…548
- 企業内労働紛争の解決について
……………小島 浩・渡邊 義広…548
- 労使関係の構造面からの国際比較の枠組み提案
……………岸田 尚友…548
- 地方公務員給与水準の再検討——都道府県職員の給与分布集計による給与運用実態分析
……………中村 博之…548
- 地域別統一労働協約に至る労使交渉過程（1961～1970年）——東京金属産業労働組合の事例
……………南雲 智映・島西 智輝・梅崎 修…548
- 事業再生過程における人事労務管理と雇用・労働条件の変化——事例調査をもとに
……………藤本 真…548
- 〈「2007年問題」を検証する〉
- 企業の最適世代構成と人材戦略——2007年問題の経済学的分析 ……………三谷 直紀…550
- 年齢間労働代替性と学歴間賃金格差
……………野呂 沙織・大竹 文雄…550
- 定年退職と家族生活 ……………岡村 清子…550
- 団塊世代の退職と生きがい ……………佐藤 真一…550
- 〈あらためて「データ」について考える〉
- パネルデータの意義とその活用——なぜパネルデータが必要になったのか ……………北村 行伸…551
- 労働経済学における主観的データの活用
……………富岡 淳…551
- インターネット調査・モニター調査の特質——モニター型インターネット調査を活用するための課題
……………本多 則恵…551
- 〈正社員の自由時間の使い方〉
- サラリーマンの副業——その全体像
……………小倉 一哉・藤本 隆史…552
- 副業をめぐる法的規制と労働者の私生活の自由——ドイツとの比較から考える ……………根本 到…552
- 正規雇用者の生活時間 ……………上田 貴子…552

有業者の余暇時間と健康投資	……………梶谷 真也・小原 美紀…552
武士と手代——徳川日本の「正社員」	……………斎藤 修…552
〈少子化と企業〉	
少子化が企業行動に与える影響 ……森田 陽子…553	
企業からみた両立支援策の意義——両立支援策の効果研究に関する一考察 ……………武石恵美子…553	
出産女性の雇用継続における育児休業制度の効果と両立支援の課題 ……今田 幸子・池田 心豪…553	
〈成果主義を検証する〉	
成果主義賃金制度と労働法（学）の10年	……………石井 保雄…554
成果主義導入の背景とその功罪 ……阿部 正浩…554	
成果主義賃金に関する行動経済学的分析	……………大洞 公平…554
賃金制度改革の着地点 ……………石田 光男…554	
働く人からみた成果主義	……………立道 信吾・守島 基博…554
〈労使関係の分権化〉	
労使関係の分権化と労働者代表——解題をかねて	……………大内 伸哉…555
ドイツにおける労使関係の分権化と労働組合および従業員代表の役割 ……………ベルント・ヴァース…555	
フランスにおける集团的労使関係——重層的システムの過渡期 ……………ジュリアン・ムレ…555	
イギリスにおける労働者代表制度	……………キャサリン・バーナード…555
オーストラリアにおける労使関係の分権化——「過剰規制」による労使関係の分権化と「規制緩和」——オーストラリア2005年労働法改革	……………アンソニー・フォーサイス…555
韓国における労働組合・従業員代表制度の新展開——課題に直面する企業別組織と中央集権化への動き	……………崔 碩 桓…555
〈雇用改善の明暗〉	
地域再生と雇用創出 ……………橘川 武郎…557	
雇用改善状況の経済学的分析——年齢別・地域別労働市場の観点から ……………杉浦 裕晃…557	
非正規雇用と労働所得格差 ……………太田 清…557	
個の自律と人材開発戦略の変化——ES と EAP を統合する支援・啓発パラダイム ……花田 光世…557	

（紹介）

〈コミュニケーション〉	
労使コミュニケーションの現状と課題	……………藤村 博之…546
個別人事管理の進展とコミュニケーションの現状——NECにおける2WAYマネジメントの取り組み	……………松岡 猛…546
組織内オンブズパーソン——健全な問題解決のためのコミュニケーション・ルート	……………メアリー・ロウ／高橋 良子…546
最近のキャリアカウンセリング研究におけるコミュニケーション ……………下村 英雄…546	
〈「2007年問題」を検証する〉	
団塊世代の引退による技能継承問題と雇用・人材育成——製造業の事例 ……………久保田章市…550	
〈あらためて「データ」について考える〉	
データアーカイブの役割とSSJデータアーカイブの現状——実証研究における再現性を担保するために	……………佐藤 朋彦・佐藤 博樹…551
〈正社員の自由時間の使い方〉	
公式統計に現れない隠れた副業の規模と実態	……………門倉 貴史…552
〈少子化と企業〉	
多様な人材の能力を最大発揮しうる環境づくりに向けて——ダイキン工業(株)におけるワーク・ライフ・バランスに資する施策について ……池田久美子…553	
セイコーエプソン(株)における育児支援に関する取り組み ……………竹内 上人…553	
フランスの企業と「少子化対策」 ……神尾真知子…553	
〈成果主義を検証する〉	
コンサルタントが見た成果主義人事の15年	……………山本 紳也…554
タケダの成果主義とその課題 ……………高橋 俊之…554	
〈雇用改善の明暗〉	
高校新卒者の就職状況——現状と課題	……………長須 正明…557
売り手市場到来で新卒採用は通年化へ——学生が企業を選ぶ「厳選就職」で「内定辞退」続出	……………夏目 孝吉…557

(研究ノート)
〈「2007年問題」を検証する〉
高齢者の雇用確保措置をめぐる法的諸問題
……………山下 昇…550

(オピニオン)
子供をもつかどうかは、どこまで個人の自由なのか
……………大内 伸哉…553
少子化対策と企業の役割 ………………岩田喜美枝…553
企業と少子化 ………………奥谷 禮子…553
少子化対策という言葉を使うのはやめよう
……………赤川 学…553
ファミリー・フレンドリー施策の普及は少子化抑制の
ためだけにあるのではない ………………脇坂 明…553

(論文〈投稿〉)
企業別データを用いた個人請負の活用動機の分析
……………周 燕飛…547
〈「2007年問題」を検証する〉
技能継承と若年採用——その連関と促進策をめぐって
……………太田 聡一…550
〈あらためて「データ」について考える〉
サンプル脱落に関する分析——「消費生活に関するパ
ネル調査」を用いた脱落の規定要因と推計バイアス
の検証 ………………坂本 和靖…551
解雇と労使協議、経営参加 ………………野田 知彦…556
成果主義の導入プロセスにおける問題と対応——自動
車メーカーA社における賃金制度改革からの示唆
……………樋口 純平…556
新規高卒者の継続採用と人材育成方針——企業が新規
高卒者を採用し続ける条件は何か
……………原 ひろみ・佐野 嘉秀・佐藤 博樹…556
就業二極化と性行動 ……玄田 有史・川上 淳之…556

(研究ノート〈投稿〉)
拡大するイタリアの民間年金制度——2004年年金改革
における退職手当と補足的保障制度
……………中益 陽子…552
正規——パート間賃金格差拡大のマクロ的要因
……………山口 雅生…554
職場における信頼と信頼性——上司部下関係の観点か
らOJTに注目して……………山本 茂…555

若年無業者の実像——経歴・スキル・意識
……………本田 由紀・堀田 聡子…556

(エッセイ)
〈芸術と労働〉
音楽と労働——アリオン音楽財団のとりくみ
……………江戸 京子…549
舞妓・芸妓のキャリア ………………西尾久美子…549
表現教育はなぜ必要か? ………………平田オリザ…549
放送関連労働者派遣について ………………萩 昌幸…549
地域づくりのサポート——アートは場所と人、人と人
とをつなぐ ………………北川フラム…549
劇場でのしごと——滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールを
例に ………………上原 恵美…549
お笑い芸人就職事情 ………………増田 晶文…549
映画をつくる労働 ………………佐藤 忠男…549
アニメ産業における労働 ………………勇上 和史…549
コンテンツ産業の労働市場 ………………八木 匡…549
芸能実演家の労働者性 ………………浜村 彰…549
芸能実演家と国際労働基準 ………………斎藤 周…549
温故知新——実演家の保護と著作権制度
……………本山 雅弘…549

(学界展望)
労働経済学研究の現在——2003年～05年の業績を通じ
て……………大森 義明・神林 龍
久保 克行・佐々木 勝…547

(ディアローグ)
労働判例この1年の争点
……………盛 誠吾・森戸 英幸…556

(インタビュー)
〈芸術と労働〉
芸能・芸術家の人材育成について——寺脇研氏にきく
……………ききて：小倉 一哉…549

(対談)
〈芸術と労働〉
お笑い芸人の人材育成・管理について
……………木村 政雄・藤村 博之…549

エンタテインメント業界における人材活用

……………内藤 篤・菊谷 達弥
神林 龍(司会)…549

(座談会)

〈あらためて「データ」について考える〉

「パネルデータ」を考える

……………大竹 文雄・吉川 徹
永瀬 伸子・樋口 美雄…551

(書評)

白木三秀編著『チャイナ・シフトの人的資源管理』
……………水野 順子…546
柴山恵美子・藤井治枝・守屋貴司編著『世界の女性労働——ジェンダー・バランス社会の創造へ』
……………大沢真知子…546
マーカス・レビック著『日本の雇用制度——新たな経済環境への適応』 ……………小倉 一哉…547
サンフォード・M・ジャコービ著『日本の人事部・アメリカの人事部——日米企業のコーポレート・ガバナンスと雇用関係』 ……………稲上 毅…547
森ます美著『日本の性差別賃金——同一価値労働同一賃金原則の可能性』 ……………富田 安信…547
玄田有史著『働く過剰——大人のための若者読本』
……………田中 俊英…547
阿部正浩著『日本経済の環境変化と労働市場』
……………照山 博司…549
森 廣正著『ドイツで働いた日本人炭鉱労働者——歴史と現実』 ……………佐藤 忍…549
品田充儀編著、倉本幹男／モーリー・ガンダーソン／ダグラス・ハイアット著『労災保険とモラル・ハザード——北米労災補償制度の法・経済分析』
……………太田 聡一…550
水町勇一郎著『集団の再生——アメリカ労働法制の歴史と理論』 ……………中窪 裕也…550
柳屋孝安著『現代労働法と労働者概念』
……………岩永 昌晃…550
和田正武・安保哲夫編著『中東欧の日本型経営生産システム——ポーランド・スロバキアでの受容』
……………石川 晃弘…551
巖善平著『中国の人口移動と民工——マクロ・ミクロ・データに基づく計量分析』 ……………中村 良二…551

樋口美雄・児玉俊洋・阿部正浩編著『労働市場設計の経済分析——マッチング機能の強化に向けて』
……………佐々木 勝…551

稲上 毅著『ポスト工業化と企業社会』
……………D.H.ウィッターカー…552
大竹文雄著『経済的思考のセンス——お金がない人を助けるには』 ……………諏訪 康雄…552
石川晃弘編著『体制移行期チェコの雇用と労働』
……………笠原 清志…552
松島静雄監修、石川晃弘・川喜多喬・田所豊策編著『東京に働く人々——労働現場調査20年の成果から』
……………下田 健人…552
白波瀬佐和子編『変化する社会の不平等——少子高齢化にひそむ格差』 ……………小塩 隆士…553
河野穰著『イタリアにおける労使関係の再構成——1990年代』 ……………小西 康之…553
石川晃弘・白石利政編著『国際比較からみた日本の職場と労働生活』 ……………呉 学 殊…553
渡辺賢著『公務員労働基本権の再構築』
……………川田 琢之…554
筒井美紀著『高卒労働市場の変貌と高校進路指導・就職斡旋における構造と認識の不一致——高卒就職を切り拓く』 ……………石田 浩…555
武石恵美子著『雇用システムと女性のキャリア』
……………浅海 典子…555
浅海典子著『女性事務職のキャリア拡大と職場組織』
……………松原 光代…555
小杉礼子・堀有喜衣編『キャリア教育と就業支援——フリーター・ニート対策の国際比較』
……………樋口 明彦…556
前田信彦著『アクティブ・エイジングの社会学——高齢者・仕事・ネットワーク』 ……………藤村 博之…556
小池和男編／監修『プロフェッショナルの人材開発』
……………大久保幸夫…556
道幸哲也著『労使関係法における誠実と公正』
……………奥野 寿…557
醍醐聰著『労使交渉と会計情報——日本航空における労働条件の不利益変更をめぐる経営と会計』
……………藤本 真…557

(読書ノート)

願興寺胎之著『トヨタ労使マネジメントの輸出——東アジアへの移転過程と課題』 ……………藤村 博之…550

佐藤博樹・佐藤厚・大木栄一・木村琢磨著『団塊世代のライフデザイン——決して一律でない就業志向と、夫婦間の思惑の差』	……………戎野 淑子…552
小池和男・洞口治夫編『経営学のフィールド・リサーチ——「現場の達人」の実践的調査手法』	……………中島 敬方…553
大沢真知子著『ワークライフバランス社会へ——個人が主役の働き方』	……………小倉 一哉…554
清家篤著『エイジフリー社会を生きる』	……………黒澤 裕…555
大久保幸夫編著『正社員時代の終焉——多様な働き手のマネジメント手法を求めて』	……………木村登志男…556

(書評論文)

都留康・阿部正浩・久保克行著『日本企業の人事改革——人事データによる成果主義の検証』と松繁寿和・梅崎修・中嶋哲夫編著『人事の経済分析——人事制度改革と人材マネジメント』を読む	……………佐藤 厚…547
---	---------------

(紹介)

ブルース・E. カウフマン『労使関係のグローバルな進展——出来事、理念と IIRA』	……………花見 忠…548
--	---------------

(論文 Today)

D. E. ボウエン／C. オストロフ「人材マネジメントと企業業績との間のブラックボックスを開く『組織風土』」	……………鳥取部真己…546
B. ハース「ワーク・ケア・バランス——国際比較のための類型論を特定できるか」	……………中島 ゆり…547
T. ベスレー／R. バージェス「労働規制は経済パフォーマンスを悪化させるか?——インドの実証分析より」	……………奥平 寛子…549
M. バルベラ「平等の挑戦」	……………大木 正俊…550
T. ヴァハター／S. ベンダー「若年期の離職経験は、永続的な賃金損失を生むか?——ドイツの徒弟データを用いた実証分析」	……………町北 朋洋…551
G. クンダ／S. R. バーレー／J. エヴァンス「非正規労働のジレンマ——高スキル契約社員のエスノグラフィ」	……………島貴 智行…552

A. R. ホックシールド「市場文化の家族文化への侵入——親業コンサルティングサービスの事例と働く親たちへのインタビューをもとに」	……………岩脇 千裕…553
S. E. ブラックほか「長男・長女は得をする? : 子供の数と出生順位による教育格差——ノルウェーの事例から」	……………梅野 祐樹…554
M. ビアー／M. D. キャノン「アメリカ企業の経験した成果給の導入と挫折」	……………樋口 純平…555
W. R. コルベット「限定的に解釈されつつある全国労働関係法」	……………木南 直之…556
R. コールドウエル他「企業による HRM 活用の進展について——理想と現実のギャップ」	……………尹 諒 重…557

(フィールド・アイ)

多様な人々、多様な食事	……………川口 大司…546
オーストラリアの労働市場改革	……………岸 智子…547
Work for the Dole	……………岸 智子…549
オーストラリアの職業教育	……………岸 智子…550
失業か不安定雇用か?	……………嵩 さやか…551
移民の国、フランス	……………嵩 さやか…552
自由、平等、「連帯」?	……………嵩 さやか…553
スウェーデンにおける経済学と政策	……………岡村 和明…554
スウェーデンにおける時間と格差	……………岡村 和明…555
スウェーデン総選挙	……………岡村 和明…556
ドイツ、閉店法の行方	……………高島 淳子…557

(発表)

第29回(平成18年度)労働関係図書優秀賞	……………556
第7回(平成18年度)労働関係論文優秀賞	……………556